

関東ふれあいの道(千葉)⑬先住民の歩いたみち

2023年(令5)2月7日 池内淑皓

2022年10月2日(日)快晴 暑いが湿度が低く快適な陽気。
今日は午前中⑬観音様の道を歩いて、12時半ゴールの中之台バス停に着いた。引き続き本コースを歩く。
このコースはタイトル通り二つの古墳を見学する、先住民が歩いたであろう道を、ゆっくり辿ってみよう、距離も10km弱である



コース案内板、中之台バス停(スタート地点)そばにある(首都圏自然歩道連絡協議会)



コース概念図、風化して少し傷んでいる



12:30 引き続き⑬コースを歩き継ぐ



里道を 10 分程北に向かって歩いて行く



第一の訪問地は「報恩寺」石段を登って台地の上に出る



「報恩寺」長徳 2 年開基の真言宗豊山派、雲上山金剛院
本尊は木造阿弥陀如来像で、鎌倉時代の正応 4 年(1290)の銘がある、重文



梵鐘は室町時代徳治元年(1306)の刻印がある



ここからは、先人が歩いたであろう里道に行く



山栗が落ちていた、少し栗拾いしながら歩く



昨日、今日ズ〜と歩いているお馴染みの風景であるが、暑くもなく寒くもなく、里道を歩くのは気持ち良い気候だ



この集落は草を刈り取って、石標が分かるように台石を置いているから、よくわかる



稲刈りも終わって、刈り取った稲は田圃に干さずに収容してしまう



給田集落の道標と関東ふれあいの道石柱



10月初め頃は秋桜が良く咲いている



油殿古墳の遠景



「油殿古墳」植生川の段丘 40mの独立した大地の上に位置する前方後円墳
径 93mの大きさに4～5世紀の築造と伝える。北総は多くの古墳があったから、この辺りまで支配が及んでいたのであろう



古墳群を離れてまた町に出る



また台地上に上ると、能満寺古墳に出る



「能満寺古墳」千葉県内最古の前方後円墳と言われている。

4世紀初めの築造と伝え、東日本の古墳文化発生期の遺構であると、説明板に記述されている



昭和 22 年明治大学により発掘され鉄刀、銅鏡、ガラス玉等が出土した。
房総半島の太平洋側では、数少ない大型の古墳と言われる



古墳の収まる台地を下ると、15 分程でバスの行き交う町に出る。ゴールは睦沢公民館入口。
日も大分西に傾いて来た、秋の日暮れは早い。バスは休日 14:13, 15:53, 17:58 がある
車中の人となれば 40 分程で JR 茂原駅に着く。八街の落花生でもかじりながらビールで乾杯としよう。

[参考タイム] 中之台バス停(12:25)→報恩寺(12:35-12:40)→油殿古墳(14:15-14:25)→能満寺古墳
(15:00-15:05)睦沢公民館入口バス停(15:25-15:53)→茂原駅南口 16:30

12. 2km 3 時間であった この項完

「関東ふれあいの道(千葉)⑭大海原の望めるみち」に続く